

大谷選手寄贈 グラブ届いた

八雲の7小学校お披露目

【八雲】米大リーグの大谷翔平選手が全国の小学校に三つずつ寄贈したグラブが町教委にも届き、冬休み明け初日の12日、町内全7校でお披露目された。

野田生小（児童10人）では、宮川高宏校長が児童たちに「大谷選手から野球をしてほしいと届きました。どんどん使ってください」と紹介。1、2年生は、担任の西河章弥教頭にグラブの使い方を教わり、キャッチボールに挑戦した。

2年の佐久間ちよさん（8）は「大谷選手はテレビで見て知っている。グラブをもらってうれしい」とにっこり。同じく2年の林晃



弘さん（8）は「キャッチするのが難しい」とボールを追いかけた。1年の本間央羅さん（7）は「指がグラブの奥まで届かない」と言いつつ上手に捕球した。

同校では玄関ホールに大谷選手の手紙とともにグラ

届いたグラブを手に使い方を教わる野田生小の子どもたち

ブを展示。児童に自由に使ってもらうほか、来校した保護者らに見てもらう。

グラブは長万部町教委にも11日に到着しており、長万部小では冬休み明けの15日に子どもたちに披露するという。（水島久美）